

完了後の評価個表

整理番号	13
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	静岡県
地域（地区）名	富士	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等
関係市町村	富士市ほか8市町	管理主体	県、市町、森林組合、森林所有者等
事業実施期間	H23年度～H27年度（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>本地区は県の東部に位置し、富士市ほか6市2町で構成され、総面積は138千haである。</p> <p>本地区の森林面積は79千haと区域面積の57%を占め、このうち民有林面積は55千ha（森林全体の70%）、うち人工林は40千ha（人工林率72%）であり、富士山、箱根山、愛鷹山の比較的緩やかな山麓に、戦後植栽されたヒノキを主体とした人工林が広がっている。</p> <p>人工林の齢級別内訳は、Ⅰ～Ⅷ齢級が5%、Ⅸ～ⅩⅡ齢級が29%、ⅩⅢ齢級以上が66%となっており、高齢級の人工林を皆伐し、再生林を行うなど森林資源の循環を図る施策の実施が望まれる。しかし、林業を取り巻く環境は労働条件の改善が進まないなど依然として厳しい状況にある。</p> <p>そのため、森林組合や林業経営体、後継者の育成などを進め低コストでの林業経営を目指し、施策の集約化を図りながら、持続可能な森林経営と地域の実情に応じた計画的な間伐、保育等の実施などの森林整備を推進することが望まれる。</p> <p>このため、森林の有する水源涵養機能や山地災害防止機能などの公益的機能を持続的に発揮させるため造林や間伐などの森林整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容 森林整備 2,949ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>・総事業費 3,039,449千円（税抜き 2,854,755千円） （平成22年度時点 451,000千円（税抜き 429,524千円）） ※なお、事業採択時は事前評価の対象外である。</p>
----------	--

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和3年度時点における費用便益分析の結果は下記のとおりである。</p> <p>事業着手以降、労務単価の上昇や優先度の高い箇所から森林整備を実行したことに伴う事業量の変動等に加え、搬出間伐においては、資源の有効活用を図るため当初計画を大幅に上回る実績があったことにより、費用も大幅に増加したことを踏まえ費用便益分析を実施した。</p> <p>総便益（B） 25,972,624千円 総費用（C） 4,313,322千円 分析結果（B/C） 6.02</p>
-------------------------	--

② 事業効果の発現状況	<p>本事業の実施により2,949haの森林が整備され、水源涵養機能等、森林の有する多面的機能の維持増進が図られた。また、利用間伐の実施や高性能林業機械の使用等により作業が効率的に行われ、木材の安定的な供給に寄与するとともに、雇用の場が提供され、地域の社会経済に貢献した。</p>
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業により整備された森林は、森林経営計画等により継続して適切に管理しており、良好な管理状況にある。</p>
④ 事業実施による環境の変化	<p>森林整備の実施により良好な森林が形成され、水源涵養、山地保全、木材等の林産物の安定供給等、多面的機能が発揮されている。</p>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>平成26年に本地区に大型合板工場が稼働して木材需要が拡大した。本地区内外から木材が安定的に供給されており、県内の木材生産量の増加と地域経済の発展に寄与している。さらに、平成27年にはバイオマスボイラーも稼働し、それまでは林地残材となっていた材の搬出利用が促進されている。</p> <p>また、高性能林業機械の導入により、造材作業の機械化が進んでいる。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する多面的機能の維持増進を図るため、森林整備を継続的に実施するとともに、利便性の向上のため路網整備にも取り組む。また、主伐箇所はコンテナ苗や一貫作業システムを導入し更新作業の省力化、低コスト化を図ることに加え、植栽した苗木を獣害から守り確実な更新を促すため、獣害防護柵等の設置を推進するとともに、設置した防護柵等の維持管理の省力化に係る新たな取組も行う必要がある。</p> <p>地元の意見：</p> <p>(三島市)</p> <p>事業の実施は、森林のもつ公益的機能の効果的な発揮に資するものと考ええる。</p> <p>(沼津市)</p> <p>当初の事業計画を上回る事業量を実施することができ、森林の持つ公益的機能の増進が図られた。今後も、森林資源の循環を図る施策を積極的に働きかけていきたい。</p> <p>(裾野市)</p> <p>事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持、増進に寄与しており、継続的な事業実施をお願いしたい。</p> <p>(御殿場市)</p> <p>森林整備事業によって森林の多面的機能が発揮されるため、計画的な事業の継続が大切だと考える。また、林道の整備による利便性の向上により、森林整備の継続的な実施が行えると考える。</p> <p>(小山町)</p> <p>森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるよう、今後とも適正な森林の整備と維持管理をお願いします。また、事業の低コスト化・省力化の取組について、町への情報提供をお願いします。</p> <p>(富士市)</p> <p>本事業により森林整備が進み、森林の有する水源涵養機能や山地災害防止機能など</p>

	の多面的機能の発揮に寄与していると認識している。
評価結果	<p>必要性： 本事業の実施により、森林の有する多面的機能の持続的な発揮や、間伐材等の供給に寄与しており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 森林作業道の開設や高性能林業機械の導入により、造材や運搬等の作業の効率化が図られている。</p> <p>有効性： 計画的な間伐や植栽等の事業の実施により、森林の有する多面的機能が向上し、その効果が持続的に発揮されており、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：静岡県

地域(地区)名： ^{ふじ}富士

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,656,399	
	流域貯水便益	1,754,350	
	水質浄化便益	4,601,737	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,482,574	
環境保全便益	炭素固定便益	9,034,649	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,442,915	
総 便 益 (B)		25,972,624	
総 費 用 (C)		4,313,322	
費用便益比	$B \div C = \frac{25,972,624}{4,313,322} = 6.02$		

森林環境保全整備事業 富士地域（静岡県）概要図



凡例	
計画区界	
事業区域	
森林整備	

